

平成26年の火災・救急・救助概況

火災

区 分	平成26年	平成25年	増減
火災件数合計(件)	122	168	▲46
建物火災	56	73	▲17
うち 住宅火災	24	47	▲23
林野火災	15	9	6
車両火災	10	11	▲1
船舶火災	0	0	0
その他の火災	41	75	▲34
死者(人)	3	6	▲3
うち 住宅火災	2	5	▲3
負傷者(人)	17	13	4

平成26年中に市内で発生した火災は122件で、そのうち住宅火災は24件でした。また、火災による死者は3人で、うち住宅火災による死者は2人でした。前年と比較すると火災件数は46件減少し、その内建物火災は17件減少、その他の火災は34件減少となりました。

住宅火災については、23件減少となっており、中には住宅用火災警報器が火災を感知し、初期消火に成功したという事例がありました。大切な命と財産を守るためにも住宅用火災警報器を設置しましょう。

救急

区 分	平成26年	平成25年	増減	
出動件数	14,229	14,196	33	
搬送件数	12,863	12,827	36	
搬送人員	13,042	12,995	47	
主な事故種別	交 通	1,356	1,369	▲13
	一般負傷	2,210	2,213	▲3
	急 病	8,867	8,742	125

平成26年中の市内における救急出動件数は14,229件で、前年に比べ33件の増加となり市町村合併後最多の出動件数となりました。

事故種別でみると、例年同様急病が8,867件と最も多く、次いで一般負傷の2,210件、交通の1,356件の順でした。

また、傷病程度では、全体の約半数が軽症者となっており、この中にはタクシー代わりとみられる救急事案も散見されました。

救急車の適正利用に御協力をお願いします。

救助

区 分	平成26年	平成25年	増減	
出動件数	126	130	▲4	
活動件数	85	70	15	
救助人員	130	70	60	
主な事故種別	火 災	4	7	▲3
	交通事故	63	67	▲4
	水難事故	12	11	1
	風水害等自然事故	9	4	5

平成26年中の市内における救助出動件数は126件で、前年に比べ4件の減少となりました。事故種別でみると、最も多かったのが交通事故の63件で、全体の50%を占めました。

平成26年中の大きな特徴としては、8月に襲来した台風11号により、三重県に大雨特別警報が発令され、市内においても大雨による救助件数が増加するなど、昨年と比べて救助全体の出動件数は減少しましたが、度重なる台風の影響により、風水害等自然災害による事故が9件発生し、5件の増加となっています。

▲は減少を示します。平成26年の数値は速報値です。

問い合わせ 消防本部 消防安全課(火災) TEL 254-0354 FAX 256-7755
 救 急 課(救急) TEL 254-1600
 警 防 室(救助) TEL 254-1601